

# アンケート結果をお知らせいたします

作成配布:前地自治会

(本紙は地域の防災上、重要な事なので非自治会員の方にも配布させていただいている)

## ●アンケート結果から

さいたま市が大地震を想定した被害、防災上の問題、前地地区の深刻な状況等をまとめた報告書の内容のうち、必要不可欠な情報が市民の方々に周知され、理解されているとは言い難く、備えの意識や行動があまり見られない実態が浮かび上がりました。

自治会の防災に対する取り組みは肯定的に受け止められていると言えます。防災環境悪化の原因である開発への対策としては「強制力ある規則」は5割強の支持がありました。

## ●配布数と回収数

令和2年1月6日時点での回収及び郵送分	回収数 338 (36%)	配布数 920
---------------------	---------------------	------------

## A. さいたま市がまとめた2つの報告書について

さいたま市では大規模な災害が起きたときの状況、今後の減災の課題について「さいたま市被害想定調査H26」「さいたま市防災都市づくり計画H27」を策定し、ホームページ等で公表しています。

### A. 2つの報告書について

ア. 全く知らなかつたが、今回配られたチラシを見て初めて知った。	205	回答数 331
イ. 報告書がまとめられたことは知っているが、中身は見たことがない。	75	
ウ. 中身は見たものの、内容が良く理解できない。	22	
エ. 中身は見て大体どういうことか理解している。	29	

※報告書の意義や内容が周知され、理解されてはいないと言える。

回答無 7

## B. 浦和区の状況について

上記報告書で、浦和区には、火災の延焼で地区が焼失してしまう、且つ道路が倒壊する家屋やブロック塀・擁壁などで塞がれ避難が難しいとされる地区が9つあり、多数の建物家屋の損壊焼失、死者や負傷者が想定されるため、積極的に防災都市づくりを行なうべきことが指摘されています。

### B. 多数の建物が延焼し、且つ避難が困難である地区について

ア. そんな地区があることは全く知らなかつたが、今回初めて知った。	95	回答数 333
イ. 聞いたような記憶はあるが、忘れてしまった。	32	
ウ. 気にはなっているが詳しくは知らない。調べたことはない。	162	
エ. 大体は分かっているつもりである。	44	

※深刻な指摘内容を理解している人は極めて少ないと言える。

回答無 5

## C. 前地1・2丁目の状況について

前地地区は浦和区における多数の建物が延焼し、且つ避難が困難な9地区の一つであり、「防災都市づくり推進地区候補」とされています。

### C. 前地地区の大地震時の危険性について

ア. 全く知らなかつたが、今回初めて知った。	161	回答数 329
イ. 知っているが、特に何もしていない。	122	
ウ. 知っているので、少しづつはあるが備えをしている。	43	
エ. 将来的には安全な地区への引っ越しを考えている。	3	

※危険性についての理解、備えの必要性が理解されているとは言えない。

回答無 9

## D. 前地自治会の取り組み状況について

以上のようなことも踏まえ、前地自治会では積極的に防災まちづくりに取り組んでおり、防災備品展示会、講演会、親子防災教室を開催したり、感震ブレーカの設置、建物耐震無料診断の申請代行等の減災に繋がる活動を行なってきました。

### D. このような取組みについて

ア. 各人の責任と認識し、各々が自助努力で取り組むのが良い。	34	回答数 330
イ. 防災には共助が大切であり、良いことだと思う。	233	
ウ. もっと積極的に取組んで、より安全な地区にしてほしい。	63	
※肯定的である。	回答無 8	

※肯定的である。

## E. 前地自治会の取り組み状況について

一方、前地地区では相続等に伴う土地の売却で、土地を細分化し、狭小な敷地に建物間のスキマを限りなく狭くして建てることが多くなり、防災面の環境悪化が懸念される状況が起きています。近隣の苦情を受けて、自治会としても防災面からの要望を開発業者に強く申し入れていますが、なかなか聞き入れてもらえないのが実態です。

### E. これ以上、防災面の環境悪化が起こらないようにするために

ア. 近隣が開発業者と交渉をして解決を図るのが良い。	59	回答数 324
イ. 皆が守るべき強制力ある規則を作るのが良い。	178	
ウ. どうしたらよいか、分からない。	87	
※5割強が「強制力ある規則」を選択している。	回答無 4	

ご質問・ご意見は →

ご住所・ご氏名を明記の上、前地自治会宛封書を前地自治会館ポストへ投函・郵送願います[さいたま市浦和区前地2-4-7]後日とりまとめ、土地・建物所有者全員の方に回答書を配布いたします。

# アンケート結果をお知らせいたします

作成配布:前地自治会

(本紙は地域の防災上、重要な事なので非自治会員の方にも配布させていただいている)

## F. その他のお気づきの点について(要約)

以上のほかに、防災面で気になることや心配されることなどがあれば具体的にお書きください。(例えば、管理面で問題のある建物、行き止まり道路、裏宅地...)

### ●防災環境悪化、災害の懸念等について

- 浦和は細い路や行き止まりが多いと感じる。我が家は周りもそうで、なかなか道幅が広がらず大地震・大災事が発生したらどうなるか常に不安です。防災意識を強く持ち道幅を広げる努力をしていきたい。自治会には注意喚起を継続してお願いします。
- 配布されている感震ブレーカーはありがたい。新しい建物が建つときは大規模でない限り、建築会社と個人では全く歯が立たず交渉が困難。自治会から言えるなら良いこと。パンフレットを見て怖くなつた。高齢者の把握は自治会で記録を残すべき。道路幅が狭いことが気になります。
- 新しい建築の事が書かれているが、古くからの家並みでも狭い所が多くある。人気のない建物は防犯面からも気になる。
- 近年土地の細分化（家屋の密集）が進み道路上の車両通行が困難に。火災時の消防車運用、交通事故の危険等心配。注意看板設置を多くしてほしい。
- 空き家の防災。
- 災害時の避難場所について詳しく知らせて欲しい。全員が収容して頂けるのですか？
- 防災無線がはっきり聞こえないので災害時の状況が不安。避難所の確認、人口が多い場所は避難が出来るか不安。
- 地震等が起きた際避難できる大きな公園がなく不安。市に働きかけ公園づくり推進。
- 前地通商店街は道幅が狭く建物が繋がっているので、災害があると大変だと思う。
- 普段留守にしていて火災が心配されます。
- 防災には「顔の見える近所」が大切。しかしいろいろ新しい建物が増え、共助が出来るかが不安。
- ビルが立ち並ぶようになり人々の会話もなくなり、少々淋しい。災害時どうなるか不安。
- 行き止まり道路が多すぎる。道路幅狭いで消防・救助に問題が起きそう。
- 避難場所仲本小？延焼したら仲本避難が困難では。高い大谷石積み・ブロック積大丈夫か？
- 歩きたばこのポイ捨てによる火災、通学児童への悪影響煙害・・禁煙地区に指定を。
- 家庭備蓄が大事ですが皆さんの取り組みは？ペット連れての避難が大丈夫か心配。
- 前地地区は細い道路が入り組み、坂が多いことから宅地の高低差によるブロック・石積み擁壁が多い。災害時崩落により道路閉塞発生が心配。空き家もかなり見受けられるので安全対策での配慮が必要か。
- ブロック塀が古くなつていて崩れかけているところは心配。
- 狭小地に建物間のスキマを狭くして建てている業者がいるので、今後もその様なことが起こる可能性があると思うと心配です。

### ●防災、減災対策の必要性について

- 条例などで土地を細分化して売る事の禁止等を定めるのが良い（例 軽井沢）
- 防災を一括りでなく、地震、台風、大雨等それぞれ対策は違う筈なのでそれぞれの場合の避難場所の確保が必要では。
- 少しでも土地の有効利用したいのはわかるが、地震の2次災害で火災が被害をおおきくする。家の間隔を法的に定め火災を防ぎたい。（既存の建物は難しい）隣同士、留守も多いがもっとコミュニケーションを図りたい。自治会としても何か強制的・定期的に集まる制度を作ってみては？
- 消火器の設置は大切な事。隣地間はミニ開発でも50cm以上あけるルール作りをすべき。議員にも働きかけをして欲しい。
- 近隣の広域避難場所は屋外である為、大雨・台風時の避難場所・建物が必要。
- E・・の開発業者になかなか聞きいれてももらえない理由を解消する必要あり。土地の細分化を禁止したら限られ金持しだけが購入できる事に。「細分化」は必要。もつと業者と話し合う必要がある。
- E・・自治会の強制力が可能か？行政への申請に努力すべき。開発業者の問題とは思わない。やっと小さな住宅を購入できた人に失礼ではないか。
- E・・市に働きかけ重層長屋の新築を建てられない条例の作成を。住環境面以外、火災・地震等防災面からも必要。
- 主要点をまとめた当地区大判カラー図面の作成・配布。住民への定期的な啓発活動。
- 条例や地域協定等で安全を一番に。個人だけでなく地域全体を考え規定すべき。土地の大小より安全な町が一番価値があると理解している。
- 現状の対策以外に井戸のあるお宅との協力要請など取り組みを。アマチュア無線免許所持。
- 近隣避難場所のお知らせ少ない、電柱などに増設を。消火設備箇所を判り易く、また増設を。各戸に一台「消火器」を無償で配布する。大雨・洪水での汚水逆流あり、下水設備の改善を。

- 適正な内容検討の上、前地地区の一部または全部に地区計画を設定する。
- 最近空き家（空地）が目立つので放火されないよう夜回りが必要。
- 規則に基づく建築規制を。古くからの住民への対策も欲しい、金もうけだけの不動産・土地開発業者にも強く意見が通るようにすべき。市ももっと実態に即した建築許可を。好環境の実現を。
- 許可権者である行政からアプローチすべき問題と考える。
- 当地区の防災に関する知識の共有化。防災計画の周知徹底。住民の協力体制。避難訓練実施。
- E・・市の建築確認認可時、家の間隔を広げること、建蔽率を厳しく指導してもらうこと。
- 防災について前地の問題個所図面を要望。市のハザードマップも見たい。他市に比べてさいたま市の対応は全くよくないと思います。
- 20坪タイプの4棟開発について。
- 防災、環境を守るために非強制力ある規則を。防災を含め憩いの場の公園を是非作って。
- 私有地への立ち入りを防止。
- 前地1-8地区、街灯少なく防災防犯の観点から増設を。子供の安全の為にも。
- こういうアンケート等がないと忘れてしまいがち。定期的にお知らせ対応希望。
- 植栽を延焼速度低減効果のあるものに。裏宅地巡回指導、植え替え費用援助。手入れの出来ていない植栽枯れ葉放置などが災害延焼に危険だと考える。
- 災害発生時その場に残っている人達で何ができるかを本気で考えるべき。いるのは老人と子供だけ？
- 狭い道路を徐々に広げたら良い。
- 消防車の通行妨害するような電柱等は撤去移転を希望。（同様意見あり）
- ブロック塀や古い家がとても多いので、通学路、幼稚園児通行時の地震が心配。危険個所改善の対応希望。見守り強化、通学路の見直しも考慮を。
- 狭小住宅は防災や街のイメージからもあまり推奨できません。規制が必要と思う。
- 築年数の古い家屋が気になる（耐火性が低い可能性が）。特に狭小住宅の新築近くの古い家屋からは絶対火を出さない対策強化を。

### ●自治会の防災活動について

- いつも地域の為に活動して下さり感謝。（多數）
- 小学生がいます。防災教室や地区防災訓練に参加し自治会は良い活動をしている、今後多くの方に参加し体験してもらいたい活動する人を一人でも増やし、安全意識の高いまちづくりを希望。
- 防災対策を自治会を中心に推進していく、応援していくべき。
- 子供が小さいので微力ながら協力したい。「私たちにできること」「して欲しいこと」を発信して欲しい。家具の耐震補強、感震ブレーカー等地道な取り組みから減災をしていきたい。

### ●その他

- タバコのポイ捨てがなくならない。特に側溝排水口、その都度清掃している。
- 戸間留守宅が多く、空き家のようになっていて手入れもしていない家があり困っている。自治会、消防署から注意してもうえたら助かる。
- E・・狭くしてある分、防火耐火壁になっているので古い家よりは安全と思う。
- 自宅は公道から離れ消防法にもかかる土地。同様な家屋が前地には古くから多くあり。家の建て替えは建築法上改築しかなく、まずは建築法の緩和を希望。
- 勤務建物内での喫煙が出来ず他の敷地、道路で喫煙しているので自敷地内に喫煙所を。
- 共同住宅が増え、知らない顔が多くなり地域の結びつきが弱まっていると感じます。気軽に自治会行事に参加できるイベント等を通して顔がわかる地域になったらと思う。
- プラウド・ゴルフ練習場間通路へのバイク乗り入れ防止策を。夜間道路駐車を排除。
- 自宅前道路が車両通行時間帯の制限があり。何十年も続く規則で現在にはそぐわないかと。
- 敷地の境界杭を超える道路にコンクリート等で敷地拡げ道路を狭くしているところがある。
- 空き家の存在についての対策。ゴミ集積場が路上に放置されている。戸建てに限らず集合住宅建設ではどうなのか。
- 近くに空き家が多いので心配。空き家を放って置かないで欲しい。

ご質問・ご意見は →

ご住所・ご氏名を明記の上、前地自治会宛封書を前地自治会館ポストへ投函・郵送願います[さいたま市浦和区前地2-4-7]後日とりまとめ、土地・建物所有者全員の方に回答書を配布いたします。